

自治ひょうご

1620号

2022. 12. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

当面の日程

- 3日 県本部囲碁・将棋大会(ひょうご共済会館)
8～9日 自治労2023春闘中央討論集会
(TOC有明)
9日 近畿地連書記会議総会(PLP会館)
10日 自治労地域保健・精神保健セミナー
(東京／ウェブ開催)
12日 県本部組織化重点単組会議(県本部)



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

青年部女性部確定決起集会

確定交渉に注力を 特徴的な取り組みを共有

青年部・女性部は11月4日の午前中に青年女性確定決起集会を開催した。確定闘争の学習では「公務員の賃金と確定闘争について」森岡典子女性部書記長が説明。近年の人の状況などを振り返り、今年は若年層の俸給表は引き上げだが、これまでの給与制度改悪や退職金引き下げなど、生涯賃金は若い人ほど



森岡女性部書記長が説明

大きな打撃を受けることになるなど、確定闘争の意義について理解を深めた。決意表明では須澤清香さん(県職労)から「専門職の経験者採用ベースアップをめざす取り組み」、横誠翔さん(赤穂市労連)より「対面でのブロック交流会実施と、たつの市労連青年の職場要求」西田祐樹さん(豊岡病院労組)からは「処遇改善手当を全病院に波及、計画的な人員確保を要求について」3人が報告と決意を述べた。



講演をする高作教授

高作教授は「プーチンの主張はロシアとウクライナの歴史的一体性であり、ウクライナのNATO加盟についての反発から侵攻が展開され、現在の状況となっている」と講演した。また教授は、日本の民主主義が自壊していることも指摘。「個人をつなぐ関係性の消失のため『個人』から『孤人』となっており、労働組合が身近な存在に変わり、そこから生まれる連



市町振興課との交渉概要を説明する尾西書記長

山下忠之県本部委員長は「確定闘争はコロナ禍での取り組みとなるが、ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに加速した原油価格の高騰や、急激な円安の影響で物価は上昇し、私たちの生活は厳しさを増している。今年の人事院勧告は改善勧告ではあるが改善範囲が限定されており、人勧実施にプラスして全体の改善につながる取り組みが必要。また、定年引き上げも、導入前の最後のヤマ場となっており、近隣単組や先行単組

と情報を共有し、賃金確定闘争を統一闘争として全力で取り組もう」とあいさつした。集会では尾西亮太郎県本部書記長が11月1日に実施した県市町振興課交渉について「県へは法違反を是正するよう強く助言するよう求めた。特に会計年度への人勧適用については正規同様の取り扱いを求め、県からは『常勤職員の取り扱いに準じて改定することが基本』との回答を引き出しており、こうした協議結果を単組交渉で最大限追及してほしい」と概要を説明した。最後に井上敬太さん(県職労)、長島孝昌さん(神戸市職労)、伊藤房枝さん(尼崎嘱託労組)、花野圭佑さん(加東市労連)、西田祐樹さん(豊岡病院労組)の5人が各ブロックを代表し、単組の交渉状況を中心に決意表明し、山下委員長

の団結がんばろうで集会を終えた。

2022確定闘争勝利 県本部総決起集会

人勧完全実施めざし意思統一

会計年度は正規同様の取り扱いを求める



1年間の方針を確認

各評議会運動を中心に近畿が1つとなり、さらなる自治労運動の活性化に向け、中野勝利議長が発声によるガンバロー三唱で総会を閉会した。

自治労近畿地区連絡協議会(近畿地連)は、11月2日、リーガロイヤルホテル京都において、第69回定期総会を開催し、各府県本部から98人、兵庫県本部から

近畿地連に結集し さらなる運動強化を

は16人が参加した。

総会議事では、報告事項として、22年度活動報告、22年度決算報告があり、続いて23年度活動方針案、23年度一般会計案、また各評議会から1年間の報告と新年度方針など含め、4議案が提案され、全議案とも可決承認された。

「しごとより、いのち」過労死等防止啓発月間の11月に開かれたシンポジウムに参加した。今年も過労死遺族の声を直接聞いた。組合員の顔を思い出す。懸命、必死といった言葉が重なる。昨年、過重労働とハラスメントに苦しむ民間労働者の相談を受け、労組を結成した精神障害で労災申請し、長時間労働と賃金未払いで労基署に申告した。結果、労災認定され、法人と理事は労基法違反で起訴され罰金刑となった。令状を手に書類や携帯電話を押収する監督官は「かたく」と呼ばれる過重労働特別捜査班だった。かたくに感謝する一方、国家権力の強さと怖さも実感した。続いて、公務員の同じようなハラスメント事案で公務災害申請した。民間とは法律が違い、監督官もおらず立証責任は全て労働者側にある。認定率は極めて低い。しごとより、いのち。仲間と一緒に闘うしかない。

しごと

軍拡では抑止力にならない 労働組合の変革で運動強化へ

フォーラムひょうごは10月29日、講師に関西大学の高作正博教授を招き「参議院議員選挙後の憲法情勢とわたしたちの課題」と題し学習会を開催した。高作教授は「プーチンの主張はロシアとウクライナの歴史的一体性であり、ウクライナのNATO加盟についての反発から侵攻が展開され、現在の状況となっている」と講演した。また教授は、日本の民主主義が自壊していることも指摘。「個人をつなぐ関係性の消失のため『個人』から『孤人』となっており、労働組合が身近な存在に変わり、そこから生まれる連

いまいち座

雪崩に注意



吉田ノボ

阪神淡路ブロック定期総会 基本組織と連携した取り組み強化し 賃金・一時金の引き上げをめざす

阪神淡路ブロックは、10月27日、芦屋市民会館で第52回総会を開催した。戎剛ブロック議長、来賓のあいさつに引き続き、2022年度の報告を承認し2023年度活動方針案と会計予算案の提案を行った。

8単組からの発言・補強を踏まえ、方針・予算を確立し、当面する闘争方針では、人事院勧告に基づく賃金・一時金の引き上げに關して、基本組織と連携し取り組みを強化することを全



戎議長のあいさつ

【いたみ指労】 来年4月からの勤務時間の変更を協議中。取り組みを通じて、共闘の大切さを実感する。
【三田市職労】 定年延長に



白熱した模擬交渉の様子

各単組執行部の強化と次世代育成を目的とした県本部労働学校実践編を11月1日、ひょうご共済会館で開催し13単組27人が参加。交渉技術について模擬交渉を中心に、スキルをアップさせた。

山下忠之委員長は「模擬交渉やグループワークを通じて、どう実践に活かしていくのかを学習するとともに、本日を機会に単組を超えた横のつながりを築いてほしい」とあいさつした。

講義は尾西亮太郎書記長より「労使交渉のすすめ」と題して、交渉の心得について、新井亮共済支部事務局長より、じちろう共済を活用した組合への結集について講演を受けた。

参加者は4グループに分かれ、コロナ禍における職場要求について当局から回答を受けた設定で、いかに要求を受け入れさせるかを討議し、模擬交渉に臨んだ。参加者からは「自分の単組では交渉の役割分担ができていないことに気づいた」「単組に持ち帰って、みんなで確認しながら取り組みをし、団結に繋げていきたい」。

労働学校実践編

模擬交渉でスキルアップ

交渉のポイントとは

い「何を交渉のポイントにすべきかがわかった」「初めて会った人ばかりだったが、模擬交渉で一体感が出た」などの感想が寄せられた。

また交渉で当局側となった教宣委員からは「当局への厳しい追及もあり、なかなか手強い交渉と感じた。様々な法律や条例を理解し、それを根拠に職場改善につなげてほしい」等の感想が出され、次回以降にも繋げていきたい。

播磨ブロックは10月29日、第52回総会を33単組75人が参加し、姫路市内で開催した。22確定闘争では、会計年度の一時金や給料表

改定などが焦点となることから、正規と非正規が協力して取り組むことの重要性を確認した。

冒頭あいさつで足立育生議長は、「コロナ禍の影響で、組合離れが加速している。組合員を守る取り組みを大切にしよう」と強調。北川寿一事務局長が22確定闘争や定年延長など当面するたたかいを提起し、各評議会議長からは評議会の経過報告と運動方針の説明

播磨ブロック定期総会 会計年度の処遇改善に向け 正規・非正規の協力が不可欠

を行った。

質疑では、「失職した町長が就任した期間に50人近い職員が退職している。働きやすい職場をめざして沖汐守彦さんの推薦を決めた」(太子町職)、「会計年度の処遇改善を求める100万人署名を市労連と協力して取り組み、成果を得ることができた。確定闘争も力を合わせて取り組む」(加東臨嘱労)など9人から発言があった。



確定闘争勝利に向け情勢共有

但馬丹波ブロックは11月11日に代議員など35人が参加し、養父市内で定期総会を開催した。

山本陽一ブロック議長は「今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも組合活動ができた。確定・一時金など、当面する課題を全力で取り組んでいこう」とあいさつした。

総会では豊岡市職労の藤原敏也代議員が定年引き上げについて「妥結はしたものの引き続き高齢者部分休業などの継続課題を協議していく」とし、香美町職の井口能孝代議員は「昨日、町長交渉を実施。会計年度の給料表改正と一時金について当初は引き上げしないとの回答だったが、近隣市の動向を見て継続協議することとなった」と単組の取り組み状況が報告された。すべての議案は賛成多数で可決・成立した。

但馬丹波ブロック定期総会 確定最終ヤマ場に向けて 情報共有と交渉強化めざす

加し、養父市内で定期総会を開催した。

山本陽一ブロック議長は「今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも組合活動ができた。確定・一時金など、当面する課題を全力で取り組んでいこう」とあいさつした。

総会では豊岡市職労の藤原敏也代議員が定年引き上げについて「妥結はしたものの引き続き高齢者部分休業などの継続課題を協議していく」とし、香美町職の井口能孝代議員は「昨日、町長交渉を実施。会計年度の給料表改正と一時金について当初は引き上げしないとの回答だったが、近隣市の動向を見て継続協議することとなった」と単組の取り組み状況が報告された。すべての議案は賛成多数で可決・成立した。

自治労共済生協
組合員の皆さまへ

知って得する!

団体生命共済 リニューアル キャンペーン

新しくなった団体生命共済を広くお知らせするために
キャンペーンを開催!ぜひご参加ください!
(森林労連共済推進本部・たばこ共済推進本部・自治労共済推進本部・
全水道共済推進本部の合同キャンペーンです)

応募期間
2022年12月1日(木)~2023年2月28日(火)

アンケートにお答え
いただいた方の中から

スマホ用カメラアダプター付き
なので取り付けカンタン!

A賞
10人 フィールドスコープセット

一般的なスマホであれば、複数回フル
充電できます!

B賞
3,000人 ソーラーモバイルバッテリー

応募方法
WEBアンケートへの回答
<https://secure.surveymedesk.net/22coop>
※マークシートで応募することもできます。マークシート用紙が
必要の場合は所属の組合にご連絡ください。

応募資格
・森林労連共済推進本部
・たばこ共済推進本部
・自治労共済推進本部
・全水道共済推進本部
の各共済協の組合員

WEBで
簡単♪

くみん共済 NEWS
5122F037

簡単なアンケートです!
お気軽にご参加ください。

不明な点があれば、
まずは組合までご連絡ください。

くみん共済 全労済 全国労働者共済生活
協同組合連合会

自治労共済 推進本部

全日本自治体労働者共済生活協同組合

「くみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地域または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。